


題材名・単元名	学部	授業名（主たる教科領域）	授業者
はこつみゲーム ～つもう！たおそう！～	小	学年活動 5年 (生活)	高木徹
<p><ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームのルールを理解し、友達や教師と一緒に楽しんで取り組むことができる。 ・箱の大きさの違いに気付き、倒れないように工夫して箱を積み上げることができる。 ・箱が積み上がることや勢いよく倒れることに期待感を持ち、楽しむことができる。 ・好きな道具を選び、自分で箱を倒すことができる。 ・友達と協力して片付けに取り組むことができる。 			
学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物	
1. 挨拶 2. 導入 3. 箱積み  4. 箱倒し 5. 片付け 6. 挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・着席し、2の指文字を出して挨拶する。 ・絵本『つみき』を見聞きする。 ・教師による見本を見る。 ・取り組みたい児童は手を挙げる。 ・教師に呼ばれた児童2名が前に出る。 ・床に散らばった大きささまざまな段ボール箱を持ち、マットの上に積み上げる。 ・箱の高さに応じて巧技台（最大3段）を使用してもよい。 ・最後に飾りの箱（牛乳パックにキラキラシールを貼ったもの）を一番上に乗せて完成とする。 ・バット、棒、ボールから好きな道具を選び、掛け声に合わせて箱を倒す。 ・箱や道具の片付けに協力して取り組む。 ・着席し、2の指文字を出して挨拶する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・箱が高く積み上がる様子や勢いよく倒れる様子を見せ、活動への期待感を持たせる。 ・自分から手を挙げにくい児童には、教師から尋ねる。 ・自分で積み上げた達成感を大事にするため、時間制限は設けない。 ・足元が不安定な児童がいるため、実態に応じて台の数を減らすなど安全に配慮する。 ・児童のいる方向に倒れないよう、立ち位置に配慮する。 ・片付ける場所に目印として教師が待機しておく。 	
<p><内容（工夫点など）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱は、事前にえがく・つくるの授業で児童が塗り絵を貼ったり絵の具で着色したりした。 ・箱積み時間に時間制限を設けないことで、児童が最後まで取り組む姿勢を大切にしたい。 ・片付けに児童自ら取り組むことで、協力することや活動を閉じる意識を持たせた。 <p><良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が作った箱を使うことで、見た目が色鮮やかになり興味を持たせることができた。 ・時間制限をあえて設けなかったが、大きい箱が下になるようバランスを工夫したり、背伸びして高く積んだり、倒れても諦めずに積み直したりと、児童それぞれの個性が見られて良かった。 			